

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター
 実施年月日：平成30年9月6日
 実施場所：南三陸町志津川廻館，
 JA南三陸大会議室

2 検討委員の構成 (単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	
若手・女性農業者	3	学識経験者	
市町村	2	マスコミ	1
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
普及計画について	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 震災復興関係以外の課題にも取り組まれたい。 重点指導、一般活動について、前年度より向上するよう今後は指導していただきたい。 被災地域での営農支援は最も重要です。きめ細やかな支援をお願いします。 プロジェクト課題のほとんどが30年度で終了する。評価をしっかりと行い経営安定に向けて今後指導、支援を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地域の震災復興に向けた課題に最重点課題として取り組んできた。復興支援活動の成果を確認しながら新たな課題に取り組んで行く。 重点課題等、プロジェクト課題に繋がられる活動を展開させる。 後半の活動を充実させ、しっかりとした評価が出来る様後半して行く。新たな課題の把握と対象の経営安定に向け活動を展開して行く。
検討項目 NO.2 「集落営農の経営強化による地域営農体制の構築」について	4.3	<ul style="list-style-type: none"> 廻館工区の畑土壌に問題、湿害に強い品目を考えたい。 水田では支援が行き届いていないと思えます。 それぞれの組合員が纏まって取り組んでいるように思われる。 個別営農の人が組織運営するのは大変でしようが組織運営は軌道に乗るのには素晴らしいと思えます。次回は？ そう思うので、個人が組織運営するのには評価できる。採算面でも早く軌道に乗る、模範的な組織になるよう指導、支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 当地域は、小規模・個別営農が営まれ、組織活動での経営に支障が浅く、集落営農(組織営農)の経営安定に向け支援が行く。 また、水稲を主体とした組合の経営確立と個別(担い手)の経営安定に向けて支援を継続して行く。

